

『興味があれば、チャレンジ』



スポンサーになった経緯と心境の変化

森下 スポンサーになられた経緯について、詳しく教えていただけますか？

松尾 実は、サロン経営という日常から少し脱却したいと思っていた時、電話がサロンにかかってきたんです。普段はお客様以外の電話だと気がついた段階で切ることがほとんどです。でもそのときは、何となく話を聞いてみようかという心境になって。その後、改めてZoomでお話を伺って、運営事務局の熱意とビジョンにすぐに心を動かされました。大会の目的と社会への影響に魅力を感じ、これは私にとって新たな挑戦であり、社会貢献への一歩にもなると確信し、スポンサーになりました。

森下 そのスポンサーとしての活動が、ご自身にどのような変化をもたらしましたか？

松尾 スポンサー活動を通じて、私の人生観やビジネスに対する考え方に大きな変化がありました。2022年の東京代表の方々との交流は、私にとって大きな刺激となりました。特に東京代表の富士さん、岩本さん、鬼東さんはすごく人柄が素晴らしくて。彼女たちの「自分が表に立って何かを発信しよう」という純粋な情熱と努力に深く感銘を受けました。そんなベストオブミスのファイナリストたちをサポートすることは、私自身の新たな挑戦と成長の機会になりました。最初は一年間限りの支援を考えていましたが、代表者たちの熱意と、彼女たちが目指す目標に共感し、長期的なサポートをしたいと考えるようになりました。

森下 スポンサーになることで、具体的に

にどのような体験をされたのですか？

松尾 スポンサーとして関わる中で、多くの若い才能とその夢に触れることができました。書類選考からオーディション、レッスン、そして大会当日から大会後の活動を見て「困難に立ち向かう姿勢」から多くを学びました。特に印象的だったのは、大会当日のパフォーマンスです。スピーチ審査では多くの客席の前で、自分の夢や理想の社会像などを熱く語り、心を揺さぶられました。これらの体験は、私自身のビジネスに対するアプローチにも影響を与え、より社会的な影響を考慮した経営を心がけるようになりました。また、ベストオブミスを通じて出会った、さまざまな業界の人々との交流も生まれ、私のビジネスにも新たな機会をもたらしてくれました。

森下 スポンサーとしての経験が、今後のエステサロン運営にどのように影響されましたか？

松尾 若い世代の思考や、彼女が直面する課題に対する理解を深めることができました。エステティックは人の外見を美しくし、そして内面までも美しくすることができるものだと思います。だから、社会貢献活動にもより社会的な意義を持つビジネスモデルを目指し、社会全体に貢献するような取り組みを積極的に行っていきたいと考えています。若い才能を

発掘し、育てることに力を入れていきたいと思っています。

エステサロンの経営哲学

森下 松尾さんのエステサロン経営における哲学について詳しく教えてくださいませんか？

松尾 私のサロン経営哲学は、「記憶に残るエステ効果だけでなく、心から満たされる満足度を提供することです。サロンを開設した当初、私は薄利多売のモデルでスタートしました。多くのお客様に恵まれたのですが「どうしよう、トイレに行けない」「これで7人目のお客様だ」という状態が続きました。そこで心身ともに疲弊したことで、「最高のコンディションで質の高いサービスを提供する」重要性を実感しました。現在は1日3組限定とし、一人ひとりのお客様に合わせたカスタマイズされたケアを提供しています。

森下 五反田SalonBの特徴は何ですか？

松尾 極上のおもてなし空間と、最先端美容機器によるエステティックサービスです。サロンは美智子上皇后の生家が



あったことでも知られる「池田山」にあります。まるで5つ星ホテルのエステと感じていただける優雅な時間をお過ごしいただけます。美容機器は私とエステ業界15年以上の二人で吟味した、一流機器のみを揃えています。例えば「世界30カ国400以上のプロスポーツチームで採用」されている高周波施術機器WINBACK。「美容点滴に匹敵」する針を使わないエイジングエクシジョンマシンMICOSTELLA。「エステティック効果と併せ、精神的にも満足いただけるサービス」を提供しています。私たちのサービスの特徴は、細部にまでこだわったカスタマイズされたケアです。お客様一人ひとりの肌質や美容に対するニーズを深く理解し、それに合わせた最適なトリートメントを提供しています。また、最新の美容技術を取り入れ、常に業界の最先端を行くサービスを心がけています。

森下 女性としてビジネスを行う中で直面した困難はありましたか？

松尾 はい、多くの困難がありました。起業したのは15年ほど前ですが、その頃は今以上に男性社会。だから男性が支配的なビジネス環境での立ち位置を確立することが挑戦でした。20代でしかも童顔だった私は信頼構築が特に大変でした。でも私は仕事ができるタイプなので、業界での信頼を築くことや困難を乗り越えることができました。そのおかげで、より強く、自信を持った起業家へと成長することができました。

森下 これまでの経験から、他の女性起業家に何かアドバイスはありますか？

松尾 他の女性起業家に対しては、自身と自分のビジョンを信じることの重要性を伝えたいです。困難や障害に直面した時こそ、自分の強みと目標に焦点を合わせ、決して諦めないことが重要です。また、ベストオブミスの活動で再認識しましたが、色々な経営者や業界の人達との交流が知見を深めるのに重要だと感じています。

森下 今後の目標について教えてください。

松尾 五反田SalonBをさらに成長させ、社会に積極的に貢献することです。おかげさまで、先日国連UNHCRに寄付をさせていただきました。これはサロン運営という母体があつてこそできる活動です。その為、サロンを更に成長させ、その収益の一部を継続的に寄付できるように社会貢献体制を構築していきたいと考えています。また、実はもう一つエステサロン運営とは別のビジョンがあります。

森下 もう一つの目標とは何でしょうか？

松尾 2024ベストオブミス東京大会の成功です。実は、当大会の事務局長として携わることとなりました。

森下 そうなんですね。どのような経緯で事務局長に就任されたのですか？

松尾 ベストオブミスへの思いが年々強くなり、そのタイミングで事務局から推薦をいただいたからです。2022年は興味本位でスポンサーになりました。でも若い女性が一生懸命に自分磨きに取り組み姿勢に心を打たれ、2023年はメインスポンサーをさせていただきました。2023年はミス・ユニバース・ジャパンで3位という成績を残された森下さん



を始め、白瀬さん、徳山さんたちとも出会うことができました。本当にもう、二年連続素敵な方たちを応援できたことで、ビジネスにどっぷりと浸かっていた心が、洗われました。

森下 むしろ私たちが松尾さんに心を洗われていました。

松尾 ありがとうございます。

森下 最後に、若い女性たちに向けたメッセージがあればお願いします。

松尾 「興味があればやっちゃえ」ですね。私自身「なんとなく興味があるな」「なんかできそうだな」って思うと行動してきました。その結果、池田山という由緒ある場所で高級エステサロンを運営しております。令和は昭和や平成と比べ、とんでもなく情報化社会が進んでいます。だからこそ、情報に飲み込まれず「なんとなく」という自分の勘を信じて行動してみてください。

【発行】2023ベスト・オブ・ミス東京事務局
【制作】株式会社コネクションズ
代表取締役 古屋 亮
※本誌の無断転載・複製を禁じます。
©2023 Best Of Miss Tokyo. 2023/12/08